

氏名	浅野 孝		
授与した学位	博	士	
専攻分野の名称	医	学	
学位授与番号	博甲第	1798	号
学位授与の日付	平成10年3月31日		
学位授与の要件	医学研究科内科系小児神経学専攻 (学位規則第4条第1項該当)		
学位論文題目	West症候群の発作時脳波に関する研究		
論文審査委員	教授 黒田 重利	教授 阿部 康二	教授 小川 紀雄

学位論文内容の要旨

West症候群（以下WS）にみられるtonic spasms（以下TS）は全般発作とみなされているが、その発生機序は十分明らかにされていない。そこでその発作時脳波を分析することにより、WSの病態生理、とくに大脳皮質の関与を明らかにしたいと考えた。

対象53例をⅠ群：潜因性WS、Ⅱ群：症候性WSで部分発作を伴わない症例、Ⅲ群：症候性WSで部分発作を伴う症例に分類し、総計7283回の発作時脳波を分析した。発作時脳波波型を類型化し、単発性TSの比率、非対称性の比率、発作間隔、発作持続時間、複合型シリーズ発作について比較検討した。

その結果、皮質の関与を示唆する現象として、発作時脳波の非対称性、発作時脳波に後続する特異な「律動波型」を見出した。とくにこの「律動波型」はⅢ群に高率にみられ、その出現部位は合併する部分発作の焦点部位に一致しており、皮質病変に関連する波型であることを指摘した。

論文審査結果の要旨

West症候群の発作の発生機序は不明である。本研究は発作時脳波を解析し、West症候群の病態生理において特に大脳皮質の関与を研究したものである。対象は53例で、病因、部分発作の有無で分類し、発作時脳波を記録、類型化し、病因、発作間隔、複合型シリーズ発作などの検討をした。その結果、発作時脳波は部分発作の有無とは関係がなく発作の起源は皮質下と推測された。さらに発作波に後続する特異な律動波型を見出した。この波型は症候性で部分発作を示す患者群に高率にみられ、脳波の局在性、部分発作の焦点部位に一致することから皮質病変に関連する波型と結論した。この成果はWest症候群の病態に関して重要な知見を得た価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。